

海あり 山あり 平野あり やすらぎのまち

いわむろ

コミュニティだより

105号

岩室地域コミュニティ協議会
2025年11月1日発行
〒953-0132 西蒲区西中 860
tel 0256-72-8840 〈コミ協事務所〉
tel 0256-72-8814 〈岩室出張所〉
fax 0256-82-4484 〈岩室地区公民館〉
E-mail:iwamuro.comikyo@kind.ocn.ne.jp



9月7日(日)夏の風物詩といえる「Sunset ダンスフェスティバル in 間瀬」が、間瀬こめぐりの郷公園で開催されました。ゲストダンサーをはじめ、大勢のキッズダンサー、観客が集まり、会場は熱気と興奮に包まれました。



■岩室地域の総人口 7,551 名(-20 名) [男 3,636 名(-7 名) / 女 3,915 名(-13 名)] ■世帯数 3,118 戸(+9 戸)

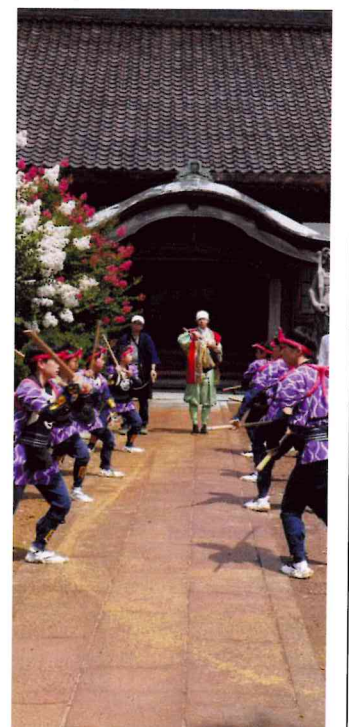
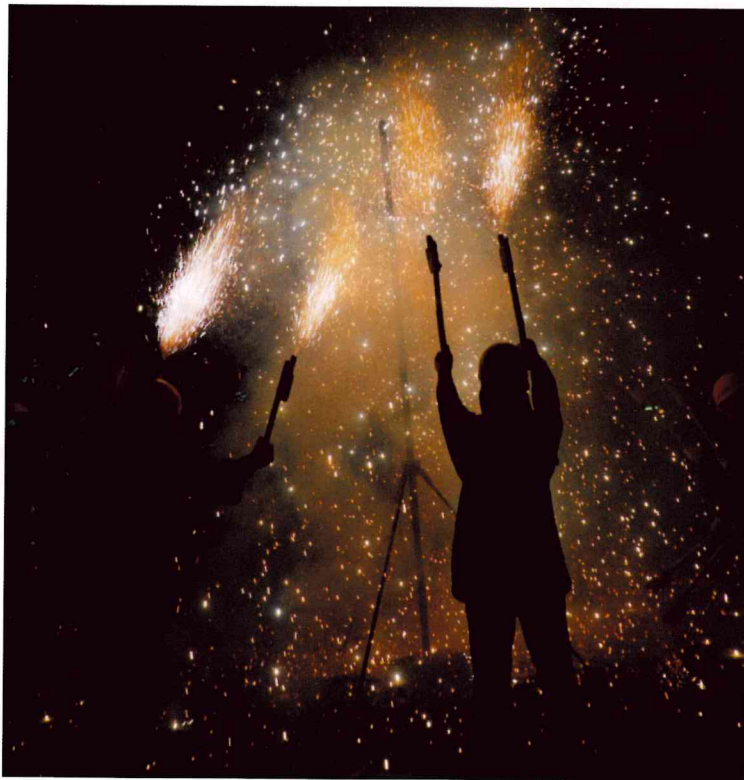
新潟市地域活動補助金事業

() は前号との比較 令和7年9月末日現在

10/19
(日)

岩室地区公民館講堂で岩室健康展が開催されました **～ちょっと気になる身体のこと？歯のこと？薬のこと？～**

当日は、骨粗しょう症予防相談、血管年齢チェック、体操・脳トレコーナー、歯科医師会による健康コーナー、薬剤師によるお薬相談、地域包括支援センター岩室による介護相談、消防署職員によるAED講習会など、多くのブースが設けられました。沢山の皆さんが来場され、健康への意識を高めました。



7月26日(土)、27(日)

和納十五夜祭りが開催されました

この祭りは江戸時代から現在まで受け継がれてきた伝統ある神事です。激しく燃え盛る火の粉の舞、勇壮な神楽舞と棒遣い、古式ゆかしい拍子方の笛の音と太鼓の響きがこの二日間の祭りをより一層盛り上げていました。



お知らせ 岩公まつりを開催します

日時 11月29日(土) 午前9時30分～午後3時30分
 岩室地区公民館

内容 ○岩室・和納保育園年長クラスの作品展示

○ものづくり(キャンディバッグ、絵手紙体験、

コットンアマル、リース、クリスマスカード)

○昔あそび、ベゴマ大会、三味線、太鼓体験、

マジシャン体験、ぶち昆虫ミュージアム

○新潟ダイハツモーターズによる最先端技術体験

・サポートカー試乗体験

・最先端モビリティ「eSNEAKER」試乗体験

・キッズメカニック体験(要事前予約)

問合せ 岩室地区公民館 ☎72-8844

※詳しくはホームページまたはチラシをご覧ください

お知らせ イルミネーション点灯式と

防犯運動

日時 11月22日(土) 点灯式 午後5時～

ところ 岩室駅前ロータリー広場、駅東公園

内容 やろつダンススタジオ主宰 キッズダンス

防犯運動 子どもたちによる「火の用心!」

点灯期間 11月22日(土)～

令和8年2月22日(日)

点灯時間 午後5時～

午前0時30分まで

問合せ 岩室地域コミュニティ協議会

☎72-8840(火、金午前中)

岩室出張所

☎72-8844



ふろと見 岩室甚句を再考(2)

スッポン 亀の子どぜうがすむ
 (亀田鵬斉、弟子の館柳湾、巻菱湖)

(一) 岩室温泉が発見され歓喜の余り、美声家重五郎なる人が、歌い踊ったのが岩室甚句である。

(二) 石瀬銅山の抗夫による山の神への神供所作が、岩室甚句である。

これは、「岩室甚句」について口伝されている通説だが、両説とも明確とした証は無い。

—— 岩室盆踊り甚九郎ぶし——
 石瀬新田町かた町山だ、うらの濁川どぜうがすむ。

これは、先号に掲載した唄である。

(一) 石瀬新田町棕呂常いらぬ芸者子供衆の裾で掃く。

(二) 石瀬新太郎さの猫(女郎の隠語)まで可愛猫は二の次、女郎可愛。

『岩室村誌』(昭和八年刊、岩室村教育委員会)にも、新田町の賑わいが唄われている。

「元禄十四年(一七〇一)大坂より山田新太郎と申者罷越、銀澤に小屋掛仕……堀始申候……」

「……そんな「山師の心許無者」一族の居住地として許されたのが山の前、片側山で、抗夫の上がり酒を飲む場が新太郎楼であった。宝永七年(一七一〇)うらの濁川の地、猿ヶ瀬村庄屋、津兵衛——村々の若者、石瀬に

通ひ止宿、農百姓に身が入らぬ——と苦情し、近郷の村々からも代官所に申し立てられている。

宝暦年代に入ると「大河津分水計画」が石瀬代官所に請願され、村々の庄屋が招集される。

新田町は公事街として、村々の役人が飲食する天領地の店(はたて屋、岩室は藩領地(高崎藩)として認可された湯治場として賑わう。文化十二年(一八一五)刊『越後集』には、「逆旅(やど屋)三十軒許、妓屋(湯女抱え)十二軒……人馬の往來日夜絶へず」と記されている。

文化六年、亀田鵬斉が来越した。酒席を好む酒徒、豪放磊落、清貧の僧、良寛と新田町で交遊する。多くの逸話を残しているが、その中に「スッポン亀の子」が登場するのである。

新田町の南はずれに「庚申塔」が立っているが、弁慶が「鉈」(密教法具)で塔石を打ち刺し、衣を干したという伝説が残されている。

遊び心豊かな鵬斉は、「庚申塔」の刻文字を揮毫した際、弁慶が打ち刺した鉈の凹み痕跡を活かして、「庚」の「まだれ」(一)の「」に利用した。しかし、村人は、「」(点)を書き忘れたと思い、「書

は良寛さんが上手と笑い、鼻負したのだった。すると、鵬斉は、揮毫書の裏に、○魚(スッポン)、○魚(スッポンの子二匹)を書いた(当時、スッポンをその形態から「○魚」と呼んでいた)。

——うらの濁川スッポン(鵬斉の諱名)亀の子(巻出身の弟子、館柳湾、巻菱湖)どぜうがすむ——と江戸から離れた北越蒲原に存する鵬斉の力量を誇示したのだった。鵬斉は石瀬の庄屋とも交遊する。『北越石瀬棚橋撲民庭園雙松』と題して「松」と同家の繁栄ぶりを書いている。カチンときた村人、良寛が愛し、友として詠んでいる「田中の松」を——石瀬下手の敵見の松(田中の松)は、なりが小そつても振りがい——と応戦している(『岩室村誌』より)。

三重県伊勢市「吹上甚句」では——伊勢はヤーエ 岩邑片側山で相のヤーエ にごり川どぜうがすむ——と歌詠されている。木の精が娘に化身して伊勢詣りした伝説「お杉とお松」と共に伊勢御師によって伝え広められたのである。



亀田鵬斉撰筆碑(種月寺)

7/23
(水)

和納小学校で寄附品のお披露目が行われました

和納小学校を卒業された高野キクさん（2021年に満100歳でご逝去）の遺志を尊重し、甥である松川敬さんをとおして、このたび耕運機、電子ピアノ、85型大型モニター、除雪機の4点が寄附の運びとなりました。



7/21
(海の日)

「間瀬海岸クリーンアップ作戦」が行われました

海水浴シーズンを迎えるにあたり、小・中学生、地元住民、各種団体等から250人もの協力のもと、下山海水浴場、間瀬こめぐりの郷公園を中心に海岸の一斉清掃が行われました。なお、今回のボランティア活動は、新潟市の地域清掃活動費補助金を使って実施したものです。



9/25
(木)

秋の交通安全運動をPR

「つける」「見つける」
反射材とライトで安全確保

秋の全国交通安全運動の一環として、岩室交通安全協会、岩室地域コミュニティ協議会、西蒲警察署、岩室・和納駐在所、西蒲地区交通安全協会女性部等が参加、岩室出張所前で交通指導を行いました。当日は車を一台ずつ止め「安全運転でお願いします」と事故防止を呼びかけました。夕方は人の目が暗さの変化に慣れず、歩行者や自転車などの発見が遅れ、事故が発生しやすくなります。早めにライトを点灯し、歩行者や自転車などに知らせましょう。速度を抑えて慎重な運転を心がけましょう。



西蒲消防署からのお知らせです 救急車の適正利用をお願いします！



こんな時は迷わず「119番」！

- ・突然の激しい頭痛、片方の腕や足に力が入らなくなる
- ・突然の胸痛、急な息切れ、呼吸困難
- ・激しい腹痛が持続するなど

知っていますか？「#7119番」！

病気やケガをしたとき、救急車を呼ぶべきか迷うことがあると思います。そんな時に専門家に相談できる電話相談窓口（月曜～土曜 午後6時から翌朝午前8時まで、日曜・祝日 午前8時から翌朝午前8時まで）が救急医療電話相談（#7119）です。小児の場合は（#8000）です。

救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは

7 1 1 9

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-284-7119



小児救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは

8 0 0 0

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-288-2525



救急車は限られた資源です。適正利用のご協力をお願いいたします。

問い合わせ

西蒲消防署岩室出張所
(☎0256-82-3360)

編集後記 広報部会

11月を迎え、いよいよ美味しい果物や紅葉を楽しめる季節になりました。さまざまな秋を楽しんでおられることでしょう。さて、今号も多くの皆さまのご協力の下、発行に至ることができました。和納十五夜祭りについては、伊藤勇様より臨場感溢れる写真をご提供いただきました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

「24時間テレビ」チャリティ募金へのご協力ありがとうございました

- 実施日 8月31日(日) 10時～17時
- 会場 いわむろや 駐車場

総募金額 61,060円

皆様から寄せられた募金は、9月1日に、24時間テレビ指定金融機関を通じて、主催局「TeNYテレビ新潟放送網」に贈呈いたしました。皆さまの温かいご支援に、あらためてお礼申し上げます。

